



令和5年度学校便り

# 二十四の瞳 4月号

文責 矢野 健二



<自分を知り進んで学ぶ子ども>  
<感謝の気持ちを持ち思いやりのある子ども>  
<健康でたくましい子ども>  
<地域・ふるさとを大事にする子ども>

## 進級・入学 おめでとうございます。

4月7日（金）に、荒谷小学校の令和5年度がスタートしました。在校児童の皆さん、進級おめでとうございます。保護者の皆様や地域の皆様に見守られ、児童数12名、職員数11名でのスタートです。



左の写真に写っている職員4名が今回の定期異動で着任しました。（別紙で着任の挨拶文書を配付しています。）豊かな自然の中で子どもたちと過ごせる喜びを感じています。地域の行事などでもお会いすることと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

新任式・始業式の後には、子どもたちが楽しみにしていた担任の発表です。どんな表情をするのかと思いつつ担任を発表しました。新任式・始業式で見た表情と同じように、担任発表でも笑顔で新しい先生との出合いを迎えることができました。

式が終わり、教室に移動した後、春休み期間中にはなかった子どもたちの声が教室から聞こえてきて、子どもがいて学校があることを感じました。

11日（火）は山本このみ（やまもと このみ）さん、甲斐遥大（かいはるた）さんを迎える入学式を挙行了しました。二人とも初めは緊張気味でしたが、お兄さんお姉さんたちの歓迎のことばが始まると徐々に緊張もほぐれ、「一年生になったら」の歌の場面では、一緒に歌って踊る姿も見られました。来賓の皆様やご家族の皆様、荒谷小の児童、職員に囲まれて、心がぽかぽかしてくる荒谷小学校ならではの入学式でした。



子どもたちの笑顔があふれ、保護者や地域の皆様に愛される学校作りにも努めます。お時間があるときには、子どもたちの様子を見に学校にお寄り下さい。

## 徐々に以前と同様に。

7日の始業日に村教育委員会からの感染症対応に関する文書を配付しましたが、学校でもその方針に沿って学校の教育活動を進めていきます。

マスクに関しては、「着用を求めない」ということで、各自の判断となります。ただし、これから暑さも増してくることが予想されますので、熱中症の対応を優先して運動をする時などには外すよう指導することもあります。また、話し合い活動や歌唱指導など、これまで控えてきた活動を取り入れて学習を進めていきます。もちろん、ピーク時より感染者数は減ってきてはいますが、まだ感染は確認されている状況にありますので、換気や適度な距離を保つことなどの基本的な対応をとっていきます。

5月8日の連休明けには、新型コロナウイルス感染症が5類に変更されるということですので、新たな対応の指針が示されることも予想されます。新たに指針が示されましたら皆様にお知らせいたします。

私が小林市立須木小学校を離任する年に新型コロナウイルス感染症が確認されました。その時は、こんなに長く影響が続くとは思っていませんでした。普通に顔を合わせて会話ができる日常にもどるといいなと思っています。

## 4月の行事予定

- 7日（金）…始業日、新任式
- 11日（火）…入学式
- 12日（水）…家庭訪問
- ※ 14日（金）まで
- 17日（月）…内科検診
- 18日（火）…全国学力・学習状況調査（6年）
- 19日（水）…心電図検査（1年）
- 21日（金）…歯科検診
- 28日（金）…参観日、懇談会、PTA 総会

学校便りのなまえをこれまでお読みいただいた「あらたに」にしようかと考えましたが、本年度の児童数が12名ということもあり、「二十四の瞳」にいたしました。

子どもたちの輝く瞳を保護者や地域の皆様にお届けできるよう職員一同努めて参ります。どうぞよろしくお願いいたします。